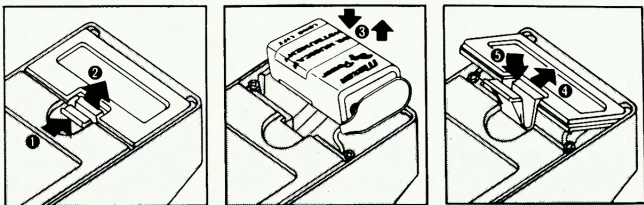


電池の交換

- この製品はS-006Pタイプ(9V)の電池を1本使用しております。
- 電池の交換は以下の手順に従って行って下さい。



1. バッテリー・カバーをOPEN方向に押し(①)、上に開き上げます(②)。
2. 電池を図③に従って入れ換えます。この時バッテリー・スナップと電池の接続が確実であること、電池の方向に注意して下さい。
3. バッテリー・カバーをケースの溝にはめ込み(④)、“カチッ”と音がするまで押し込んで下さい(⑤)。

取扱い上の注意

- 電池を長持ちさせるため、使用しない時はインプット・ジャックからプラグを抜いて下さい。
- 長期間使用しない時は、電池を抜きとって下さい。
- LEDが暗くなったり、点燈しない時は、電池の電圧低下を意味します。このような場合効果が弱くなったり、音が歪んだりしますので、早めに電池を交換して下さい。
- ACアダプターは必ずマクソンAC-109をお使い下さい。(指定外のものをご使用になるとトラブルの原因になります。)
- 操作上必要なもの以外の止めネジ類には、触れないで下さい。

主な規格

入力インピーダンス：500K Ω

出力インピーダンス：10K Ω 以下

フィルター周波数：ロー・レンジ 100Hz～2KHz

ハイ・レンジ 200Hz～4KHz

残留ノイズ：-90dBm以下(入力ショート・IHF-A)

電源：電池・S-006P(9V)1本又はAC・アダプターAC109

消費電流：8.5mA/DC9V(エフェクト時)

寸法：124(D)×74(W)×53(H)

重量：580g(電池を含む)

オプション：AC・アダプター「AC109」¥1,500

※規格品及び外觀は改良の為予告なく変更することがあります。

Maxon®

株式会社 日伸音波製作所

Auto Filter AF-9

マクソンは、新しい時代の要求と皆様のご意見を反映した製品を常にお届けできるように心掛けております。マクソンの魅力を十分に引き出すためにも、ご使用前にこの説明書をご一読ください。

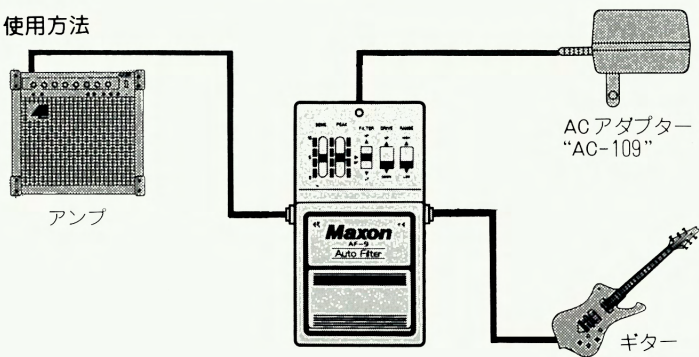
取扱説明書

OWNER'S MANUAL

特長

- コンパクト・サイズながら、センシティビィ・コントロール、ピーク・コントロール、ハイ・パス・フィルター/バンド・パス・フィルター/ロー・パス・フィルター・スイッチ、アップ/ダウン・ドライブ・スイッチ、ハイ・レンジ/ロー・レンジ・スイッチの5つのコントロールを装備し、ペダルワウのサウンドからシンセティックなサウンドまで豊富なサウンド・バリエーションが得られます。
- エフェクト/ノーマル切替スイッチには、新開型の大型“Q-1”FET電子スイッチを採
- 電池の交換は画期的なワンタッチ式です。ドライバーやコイン等を使わずに簡単に交換が可能です。
- ノーマル/エフェクト&バッテリー・コンディションを兼ねたインジケーターを装備、暗いステージでもミスセットの心配がありません。
- 長時間連続使用の場合は、オプションのACアダプターを接続できるACアダプター・ジャックが装備されています。
- コンパクト・サイズながらヘビー級のアエンダイキャスト・ケース、ゴムストッパーにより安定性は抜群です。

使用方法



接続方法と各コントロールの説明

- ①インプット・ジャックにギター等の楽器を接続します。(インプット・ジャックにプラグを差し込むと、自動的に電源が入ります。)
 - ②アウトプット・ジャックにアンプを接続します。
 - ③外部電源を使用する場合は、ACアダプター端子に、専用ACアダプター「AC109」を接続して下さい。
- ※各コントロールの説明の前に、オート・フィルターの基本的動作を理解して頂く為、一般のペダル・ワウと対比して説明します。
- ペダル・ワウは、バンド・パス・フィルターを用い、ペダルに連動したボリュームにより、フィルター周波数を可変して、ワウ・ワウ・サウンドを創ります。
- 一方、オートフィルターは、ペダル・ワウのボリュームの部分を電子回路に置き換え、入力信号(ギターの音量)を電圧に変換して制御するVCF(電圧制御フィルター)の為、ギター等、楽器の音量の強弱により自動的にワウ効果を得ることができます。更にオートフィルターはシンセサイザーと同じH,P,F,(ハイ・パス・フィルター)とL,P,F(ロー・パス・フィルター)を装備している為、従来のワウでは得られなかった効果も創り出せます。
- ④SENS.(センシティビィティ)楽器の音量をVCFの制御電圧に変換する感度を調節します。楽器の出力ボリュームの位置やギター等では弾き方によって効果が変わりますので、適切な感度に調節して下さい。ギター等で弾く強さが一定の場合、MAX.側にスライドする程フィルター周波数の変化幅が大きくなります。ペダル・ワウというペダルの変化を大きくすると同じです。
 - ⑤PEAK(ピーク)フィルターにピークを持たせワウ効果を強調する為のコントロールです。シンセサイザーのVCF・レゾナンスと同じ働きをし、MAX.側にスライドする程効果にクセが出ます。(図1~3の点線の特性)このコントロールを上げ過ぎますと、使用するアンプの入力感度により音が歪む場合があります。
 - ⑥MODE-HP/BP/LP(モード)フィルターのモード切替えです。LP.(ロー・パス・フィルター)は図1の特性になり、高い音がカットされます。BP.(バンド・パス・フィルター)は図2の特性になり、高低音がカットされ、フィルター共振周波数の特定の音だけが出力されます。HP.(ハイ・パス・フィルター)は図3の特性になり、低い音がカットされます。
 - ⑦MODE-UP/DOWN(モード)ギター等の入力信号が大きくなった場合、フィルター周波数が高音側に化するか、低音側に化するかの切替えです。図1,2,3の矢印で示す特性の様にUPの場合は、

低→高い周波数に、DOWNの場合は、高→低い周波数に変化します。ペダル・ワウの場合ですと、UPはペダルを下げた時の効果、DOWNはペダルを上げた時の効果と同じです。(図-4)

- ⑧RANGE-HIGH/LOW(レンジ)フィルター周波数の変化幅を1オクターブ上下させる切替えです。ロー・レンジでは100Hzから2KHzまで、ハイ・レンジでは200Hzから4KHzまでフィルター周波数が変化します。ベース・ギター等は、ロー・レンジで使用しずと効果的です。
- ⑨エフェクト/ノーマルの切替えは、“Q-1”フット・スイッチの足踏操作によって行ないます。
- ⑩インジケーターは、フット・スイッチでエフェクトにセットすると点灯します。フット・スイッチを切替えた時、インジケーターが暗かったり、点灯しない時は電池が消耗していますので、新しい電池SR-006P,又はアルカリ電池MN-1604と交換して下さい。

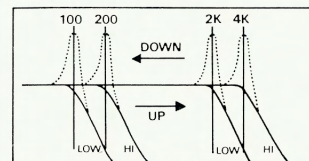


図-1 (ロー・パス・フィルター)

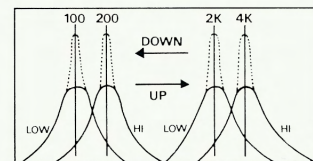


図-2 (バンド・パス・フィルター)

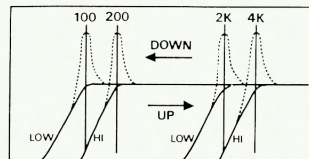


図-3 (ハイ・パス・フィルター)

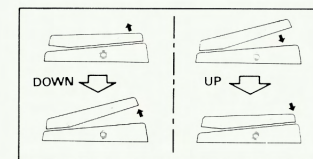


図-4 (UP/DOWN VS ペダル・ワウ)